

卒業生との絆ニュースNo. 109 工学部都市環境システム学科ご卒業、博多敏希さんの活動がNHK「鶴瓶の家族に乾杯」でご紹介されます

卒業生の皆様へ

千葉大学の卒業生にして、母校の非常勤講師を務めていらっしゃる西田直海さんから海外でユニークな活動を展開している校友を紹介していただきました。

平成5年に工学部都市環境システム学科をご卒業され、現在、南の楽園パラオ共和国でイルカと共存共栄できる環境づくりを目的としたNPOで活動している博多敏希さんです。来る8月8日（月）19：30～ NHKテレビ「鶴瓶の家族に乾杯」で紹介されるそうですので、皆様お見逃しなく。

以下は博多さんからのメッセージです。ひと時、ジメジメした日本の夏から逃れてパラオの爽やかな風に吹かれてください。

博多 敏希 千葉大学工学部都市環境システム学科 卒業
現在 パラオ共和国 在住
職場 Dolphins Pacific (パラオのNPO)

<http://www.dolphinsofpacific.com/index.html>

イルカとの触れ合いを主に誰もが楽しめる施設を目的として設立。

パラオでの環境教育、イルカの研究施設、そして、パラオの観光の発展を目的として運営されています。

イルカの施設での仕事ですが、僕の仕事はパラオの地方を盛り上げるエコツアーガイドです。

環境教育やサンゴの移植・増殖活動、海、山のリサーチもやりますが、この自然を残していく為のツアーを創ることもやっています。

イルカの施設だけではなく、パラオの自然や文化を活かすことの出来るツアーをガイドすることと、そのツアーを現地ガイドと一緒に創り上げることが僕の仕事になります。

ツーリストが満足でき、現地にお金が落ち、現地の資源（自然や文化）が守られるように考えていく仕事です。

まだまだ始まったばかりですが、現地ガイドと盛り上げられるようにしていきたいと思っています。

パラオではまだまだ未開拓の地がたくさんあります。

土地はあるのでゴルフ場を作ればたくさんの方が来るでしょう。しかし、森が消え20年後には芝生整備の為の農薬が海に流れ、死んだサンゴと魚たちの居ないただの海になってしまうでしょう。

そんな事がおこらないように、これらの大自然を活かすことのできるツアーを創って、現地人の仕事にも繋がればよいと思っています。

そして、先月そんなパラオにNHKの「鶴瓶の家族に乾杯」の撮影が来ました。

鶴瓶さんとスペシャルゲスト、石田ゆりこさんも来ていて大盛り上がりでした。

イルカの施設にも来ていただき、イルカと泳いでいましたよ～！

8月の8日19時30分から、NHKで放送されますので、みなさんよろしければ見ていただくと嬉しいです。

パラオという小さな国ですが、海に山に本当に大自然が残っています。是非ネットなどで調べてみてはいかがでしょうか？

パラオの情報はこちらから！

<http://www.palau.com/>

NHK 「鶴瓶の家族に乾杯」 INパラオ共和国

<http://cgi2.nhk.or.jp/navi/detail/index.cgi?id=4420110808>

もう少し博多さんの情報を、ということで次の質問をしてみました。

(1) 都市環境システム学科をご卒業されてどのような経緯でDolphins Pacificの活動に辿り着いたのですか？

都市環境システム学科に入ったのは、単純に自然が好きだったのです。
現在の職場 (Dolphins Pacific)は、卒業前から一度行きかけた場所でした。
理由は、綺麗な海にいるイルカと泳ぐ為でした。“笑”

大学を卒業して、ラーメンが好きだったことから、ラーメン屋に就職！
しかし、海外に住んでみたいという気持ちが強く、仕事を辞めてパラオの現在の職場に1ヶ月ボランティアに来た事がきっかけです。

(2) 千葉大学で学んだことがどんな形で役立っていますか？

大学で学んだこと。人とのコミュニケーションと視点を変えること。
僕の学科は幅広い年代の方々がいましたので、それだけで他の大学生とは違う大学生活を送ったと思います。そして、授業や課題の中では年代の違う方々と対等に、そして敬いながら進めてきたことが現在の仕事に役にたっていると思います。
また、同年代だけでは判らないような視点を考えるきっかけとなったのも、大学の時だったと思います。
自分の目だけではなく、いろんな人の立場を考えると、仕事がスムーズに行くことも多いと思っています。

(3) 千葉大学の後輩へ一言お願いします。

大学生活楽しんでください。そして、たくさんの人に出会ってくださいね～！
あなたの知らない世界を知っている人たちはたくさんいます。
僕もたくさんの人に会いました。そんな出会いが今を作っています。

後悔のない人生に、たくさんのお会いを！

とのことですよ。ご興味がおありでしたら博多さんに連絡してみてください。